



2025年2月10日

会社名 株式会社ヒューマンクリエイション  
 ホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 富永邦昭  
 (コード番号: 7361 東証グロース)  
 取締役 河邊貴善  
 問合せ先 管理本部長  
 (TEL. 03-5157-4100)

ヒューマンクリエイションホールディングスが2025年9月期第1四半期決算を発表  
 売上高は前年同期比**22.1%増**、営業利益は同**51.7%増**

当社は、本日2025年2月10日、2025年9月期第1四半期決算を発表致しました。  
 売上高は、前年同期比22.1%増の2,013百万円、営業利益は同51.7%増の212百万円。通期計画は売上高が20.1%増、営業利益が0.7%増のため、通期計画の達成に向け順調に推移しました。注力する戦略領域は、24/9下期より徐々に積み上げた案件実績をアピール材料とした営業活動が本格化し、前年同期比32.8%増と高伸しました。詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

-----以下プレスリリース-----

■2025年9月期 第1四半期ハイライト

【1Q業績サマリー】

前年同期比で売上高は+22.1%の2,013百万円、営業利益は+51.7%の212百万円と大幅に増収増益しました。特に、24/9期に計画未達だった戦略領域が+32.8%と拡大。24/9下期より徐々に積み上げた案件実績をアピール材料にした営業活動が本格化し、高い成長を実現しました。

25/9期 第1四半期業績

25/9期 第1四半期業績サマリー



前年同期比で売上高は+22.1%、営業利益は+51.7%と大幅に増収増益した。  
 特に、24/9期に計画未達だった戦略領域が+32.8%と拡大、再成長に向けて順調に進捗した。

四半期業績実績と増減率

| (百万円)    | 24/9期 |       |       |       |        | 25/9期 | 前年同期比   | 前四半期比   |
|----------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|---------|---------|
|          | 1Q    | 2Q    | 3Q    | 4Q    | 通期     | 1Q    | (YoY,%) | (QoQ,%) |
| 売上高      | 1,648 | 1,769 | 1,844 | 1,902 | 7,165  | 2,013 | +22.1%  | +5.8%   |
| ↳戦略領域*   | 502   | 555   | 558   | 573   | 2,190  | 667   | +32.8%  | +16.2%  |
| ↳SES*    | 1,146 | 1,214 | 1,286 | 1,328 | 4,975  | 1,346 | +17.4%  | +1.3%   |
| EBITDA   | 170   | 167   | 213   | 208   | 759    | 244   | +43.7%  | +17.3%  |
| 営業利益     | 140   | 135   | 180   | 175   | 631    | 212   | +51.7%  | +21.0%  |
| 親会社株主利益  | 89    | 91    | 109   | 113   | 404    | 132   | +48.3%  | +16.6%  |
| EPS* (円) | 27.17 | 27.86 | 33.38 | 34.72 | 123.11 | 40.60 | +49.4%  | +16.9%  |

注: 戦略領域の売上高は、コンサルティング及び受託開発・運用を担当する子会社(ACF/SLG/HMB/COSMOPIA/TARA)の売上高と、BKSの受託案件を累計している。一方、SESの売上高は、BKSのエンジニア派遣業務にかかる売上高とCLS(2024年10月1日付でBKSに吸収合併)の売上高、及び一部発生している内部取引高を累計している。なお、24/9期の四半期EPSは、2024年11月に公表した株式分割影響を考慮した修正値である。

## 【主要 KPI の推移】

受託開発の獲得が奏功し SES 人員を受託開発へスライドさせたため前四半期比で SES 人員数は減少しましたが、前年同期比では 11.6%増と着実に増加しています。SES 契約単価は、前年同期比 3.9%増、前四半期比 1.2%増と、安定的に上昇しました。

25/9期 第1四半期業績

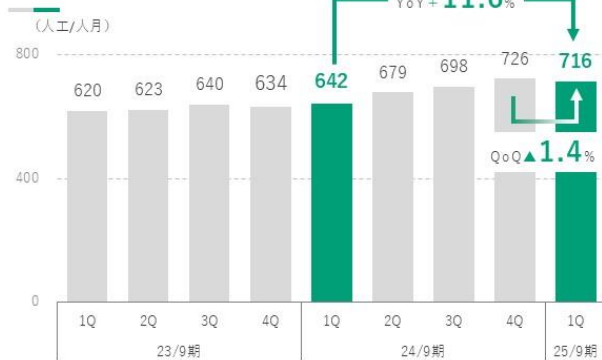
### 主要KPIの四半期推移

受託開発の獲得が奏功し 1 Q で **SES 人員を受託開発へスライドさせた**ため、SES 人員数は前四半期比で減少したが、前年同期比では 11.6%増加した。

SES 契約単価は、前年同期比 3.9%増、前四半期比 1.2%増と、**安定的に上昇**している。



#### SES 人員数<sup>\*1</sup>



・SES 人員数は、前年同期比で 11.6%増、前四半期比 1.4%減の 716 名だった。採用強化に加え新規採用者の稼働が本格化した。一方、前四半期との比較では、主に SES を手掛ける子会社 BKS で“受託開発案件”の獲得が進捗し、SES 人員を受託開発へスライドさせたため減少した。また、相対的に 1 人あたり費用の高いビジネスパートナーの稼働が減少し粗利率を押し上げた。

注 1：SES 人員数は、各四半期の稼働人員の総和 + 3 に算出しており、また正社員の他にビジネスパートナーの稼働人工を加算している。単対対象は、BKS (除く受託対応者) と CLS (2024 年 10 月 1 日付で BKS に吸収合併の 2 社である)。  
注 2：SES 契約単価には、受託案件比率が含まれない。

#### SES 契約単価<sup>\*2</sup>



・SES 契約単価は、前年同期比で 3.9%増、前四半期比で 1.2%増の 659 千円となった。マクロ的な賃上げの潮流や IT 人材の人手不足に伴う価格転嫁は進んだ一方で、アップセルやクロスセルを含む付加価値の訴求には上昇余地がある。

© 2025 Human Creation Holdings inc.

10

## 【バランスシートと自己資本比率の四半期推移】

24 年 12 月末時点で、Net Cash 611 百万円、自己資本比率は 46.0% となっています。当社の掲げる財務資本戦略「自己資本比率 ≤ 40%」の方針に則り、昨年 12 月に上限 2.2 億円の自社株買いを公表しました。該当資金は証券会社に預託済みで、財務レバレッジの早期適正化に向け邁進してまいります。

25/9期 第1四半期業績

### バランスシートと自己資本比率の四半期推移

24 年 12 月末時点で、Net Cash **611 百万円**、自己資本比率 **46.0%** の状況にある。

2.2 億円の自社株買い資金は証券会社に預託済み。**財務レバレッジの早期適正化に向け邁進**する。



#### 直近四半期のバランスシート

|        | 24/12末<br>(百万円) | 24/12末<br>(百万円) |       |
|--------|-----------------|-----------------|-------|
| 資産合計   | 3,003           | 負債合計            | 1,601 |
| ↳ 流動資産 | 2,034           | ↳ 買掛金/未払金/未払費用  | 710   |
| ↳ 現金預金 | 937             | ↳ 有利子負債         | 326   |
| ↳ 売掛金  | 947             | ↳ 未払法人税         | 85    |
| ↳ 固定資産 | 969             | 純資産合計           | 1,401 |
| ↳ のれん  | 499             | ↳ 自己資本          | 1,380 |

Net Cash 611

#### 自己資本比率の四半期推移<sup>\*</sup>



注：財務資本戦略として、「持続的成長に向けた再投資原資の確保」を大前提とする一方、仮に十分な投資機会に恵まれない場合は、①資金効率の向上を図ると共に、②株主の期待に概する為、資金を追加的な株主還元に向け、これを基本的な考え方としている。その一環として、「自己資本比率 40% 以下の維持」を基本方針とし、4 四半期連続で基準を超過しないよう、自己株式取得等の手段により、資本構成の適正化を適時に図ることを掲げている。

© 2025 Human Creation Holdings inc.

11

## ■ 通期計画の進捗状況

25/9 期通期は、売上高を前期比 20.1% 増の 8,606 百万円、EBITDA を同 1.9% 増の 773 百万円を計画しています。通期計画に対する 1Q 進捗率は、売上高が 23.4%、営業利益が 33.4% を確保しました。

売上高の進捗率は 25% を下回るものの、例年、組織・人員拡充に連れて四半期を重ねるごとに成長する傾向にあるため、進捗順調であると認識しています。

25/9 期 通期計画の進捗状況

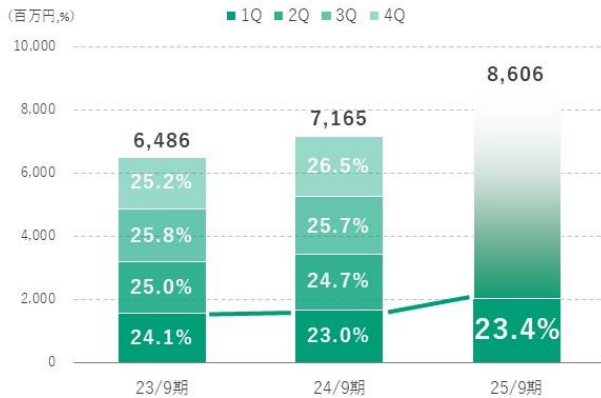
### 25/9 期 第1四半期の進捗状況



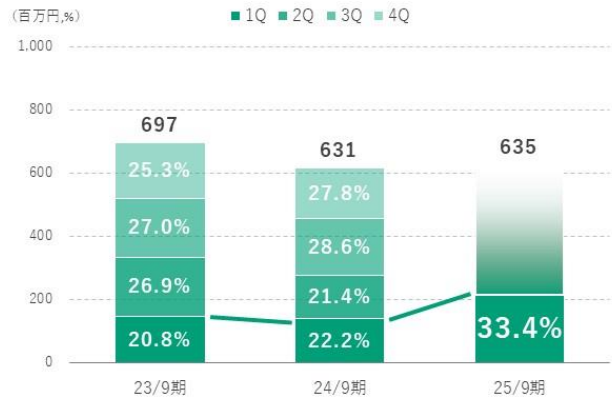
25/9 期の通期計画に対する 1Q 進捗率は、**売上高が 23.4%、営業利益が 33.4%** を確保した。

売上高の進捗率は 25% を下回るが、例年、組織・人員拡充に連れ QoQ で成長するため、進捗順調である。

#### 売上高の進捗率



#### 営業利益の進捗率



注：25/9 期は会社計画に対する計画進捗率である一方、24/9 期以前は通期実績を分母に進捗率（実績比）を算出している。

© 2025 Human Creation Holdings inc.

19

## ■ 中長期経営方針（再掲）

これまで、中期経営計画として 26/9 期に売上高 11,000 百万円、EBITDA 1,225 百万円の達成を目標としておりましたが、24/9 期は戦略領域の計画未達幅が大きくギアの入替えが必要と判断したことから、2024 年 11 月に、30/9 期を最終年度とする 6 カ年の中長期経営方針にリバイス致しました。



計数計画につきましては、2<sup>nd</sup> ステージ最終年度にあたる 27/9 期は、M&A を含む積極投資による規模拡大と事業構造の転換をテーマに、売上高 12,000 百万円を実現いたします。戦略領域の成長を重視し、売上高は 5,000 百万円とし、うち 3,000 百万円を M&A による効果と想定しております。3<sup>rd</sup> ステージは、投資回収とシナジー創出に重きを置き、最終年度である 30/9 期に、EPS 1,000 百万円（24/9 期比 4.0 倍）と、ROE 30% 超にこだわります。なお、EPS は、2024 年 11 月に発表した株式分割考慮前の数値であり、**株式分割考慮後の目標値は 500 円** となります。

■EPS1,000円へのシナリオ

EPS 1,000円（株式分割考慮後の目標値は500円）の実現に必要な4大要素を順に反映する4つのシナリオによる補足説明を作成しました。

シナリオA：過度に資金を滞留させない、シナリオB：M&Aなど再投資を強化する、シナリオC：M&Aシナジーを創出する、シナリオD：各子会社で持続成長をする、としてシミュレーションによる数値計画も公表しています。なお、本シナリオは一定の条件設定に基づくシミュレーションであり、中長期経営方針としてコミットする値ではない点にご留意ください。

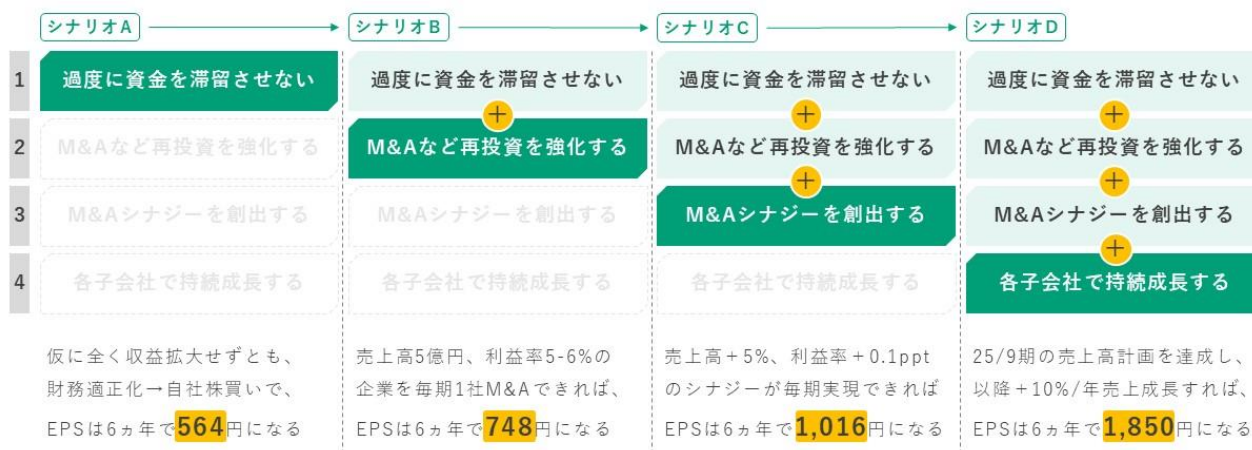
EPS 1,000円の実現に向けた補足説明



**EPS 1,000円の実現に向けた補足説明**

新中長期経営方針の発表後、投資家より「EPS 1,000円の蓋然性が分からない」とのコメントを受けました。このため、EPS 1,000円の実現に必要な4大要素を順に反映する4つのシナリオによる補足説明を用意しました。

一定の条件設定に基づくシミュレーションであり、中長期経営方針としてコミットする値ではない点に、予めご留意ください。



注：2025年1月1日を効力発生日に1：2の株式分割を実施してあります。本分割を考慮すると、目標EPSは500円となります。

■詳細のご案内

詳細は当社 IR ページに掲載している 2025 年 9 月期 第 1 四半期 決算説明資料をご確認ください。

URL : <https://hch-ja.co.jp/ir/news/>